

# MS3390

# アプリケーション

# 操作手順書

---

Rev.06

elite CO.,LTD.

2016/08/31

## 目次

1. MS3390 アプリケーション説明 .....	2
1.1. メインメニュー .....	2
1.2. バーコード検証 .....	2
1.3. スキャン 1-1 .....	3
1.4. スキャン 1-n .....	4
1.5. スキャン DB .....	5
1.6. DB 登録 .....	5
1.7. ファイルリスト .....	6
1.8. 日時設定 .....	6
1.9. バージョン .....	6
2. パソコン側の操作手順 .....	7
2.1. Log ファイル手動アップロード手順 .....	7
2.2. Log ファイル自動アップロード手順 .....	8
3. FW 更新手順 .....	11
3.1. MS3390 本体 FW 更新手順 .....	11
3.2. アプリケーション FW 更新手順 .....	12
4. トラブルシューティング .....	14
4.1. 「Check System Password」画面が表示されてしまう。 .....	14
4.2. PC とつないでも USB メモリとして認識されない。 .....	14
4.3. スキャンしても履歴に蓄積されない。 .....	14
4.4. スキャンすると電源が落ちる。 .....	14
4.5. 上下ボタンが反応しなくなる。 .....	14
4.6. 電源を入れると「Error Database Open」が表示される。 .....	14
5. 変更履歴 .....	15

## 1. MS3390 アプリケーション説明

### 1.1. メインメニュー

12:34		↑↓ボタン：カーソル移動 SCAN ボタン：選択位置実行 戻るボタン：アプリケーション終了
<b>バーコード検証</b> スキャン1-1 スキャン1-n スキャンDB DB登録 ファイルリスト 日時設定 バージョン		

### 1.2. バーコード検証

12:34		SCAN ボタン：バーコードスキャン 右上ボタン：メインメニューに戻る 戻るボタン：メインメニューに戻る
Press SCAN to start..  <div style="text-align: right;">End</div>		

12:34		SCAN ボタン：次のバーコードスキャン 右上ボタン：メインメニューに戻る 戻るボタン：メインメニューに戻る
XXXX (※1：バーコードタイプ) XXXXXXXX (バーコード)  <div style="text-align: right;">Enter&lt;← End</div>		

※1：バーコードタイプ（以下のタイプ以外は None と表示）

EAN-13	CODE 128	Industrial 2 of 5	MSI/Plessey
EAN-8	CODE 39	Matrix 2 of 5	GS1
UPC-A	CODABAR	China Post	GS1 Limited
UPC-E	Interleaved 2 of 5	CODE 11	GS1 Expanded
UCC/EAN 128	CODE93	UK/Plessey	PDF417
MICPDF417			

### 1.3. スキャン1-1

12:34 担当者スキャン Skip End		SCAN ボタン：バーコードスキャン 左上ボタン：スキップ 右上ボタン：メインメニューに戻る 戻るボタン：メインメニューに戻る
12:34 Firstスキャン End		SCAN ボタン：バーコードスキャン 右上ボタン：メインメニューに戻る 戻るボタン：担当者スキャンに戻る
12:34 XXXXXX (バーコード) Nextスキャン End		SCAN ボタン：バーコードスキャン 右上ボタン：メインメニューに戻る 戻るボタン：First スキャンに戻る
12:34 XXXXXX (バーコード) XXXXXX (バーコード) OK (NG) Enter ← End		SCAN ボタン：※1 右上ボタン：メインメニューに戻る 戻るボタン：First スキャンに戻る

(※1)

OK の場合、First スキャンに戻る。

NG の場合、Next スキャン再実行。

#### 1.4. スキャン1-n

<p>12:34 担当者スキャン</p> <p>Skip</p> <p>End</p>	<p>☐</p> <p>SCAN ボタン：バーコードスキャン 左上ボタン：スキップ 右上ボタン：メインメニューに戻る 戻るボタン：メインメニューに戻る</p>
<p>12:34 Firstスキャン</p> <p>End</p>	<p>☐</p> <p>SCAN ボタン：バーコードスキャン 右上ボタン：メインメニューに戻る 戻るボタン：担当者スキャンに戻る</p>
<p>12:34 XXXXXX (バーコード) Nextスキャン</p> <p>End</p>	<p>☐</p> <p>SCAN ボタン：バーコードスキャン 右上ボタン：メインメニューに戻る 戻るボタン：First スキャンに戻る</p>
<p>12:34 XXXXXX (バーコード) XXXXXX (バーコード) OK (NG)</p> <p>End</p>	<p>☐</p> <p>SCAN ボタン：Next スキャン再実行 右上ボタン：メインメニューに戻る 戻るボタン：First スキャンに戻る</p>

### 1.5. スキャンDB

登録済みバーコードをスキャンした場合、OK を表示します。

登録方法については、次項 DB 登録にて行います。

12:34		SCAN ボタン：バーコードスキャン 左上ボタン：スキップ 右上ボタン：メインメニューに戻る 戻るボタン：データベース照合に戻る
担当者スキャン		
Skip	End	

12:34		SCAN ボタン：スキャン実行 右上ボタン：メインメニューに戻る 戻るボタン：担当者スキャンに戻る
Press SCAN to start.. XXXXXX (バーコード) OK (NG)		
	End	

### 1.6. DB 登録

スキャンしたデータを登録します。

12:34		SCAN ボタン：バーコードスキャン 左上ボタン：DB を csv 形式で保存 右上ボタン：DB をクリア 戻るボタン：データベース照合に戻る
Press SCAN to start.. Export		
	Clear	

12:34		SCAN ボタン：スキャン再実行 右上ボタン：メインメニューに戻る 戻るボタン：データベース照合に戻る
Press SCAN to start.. XXXXXX (バーコード) 登録しました。or 登録済みです。 Export		
	Clear	

### 1.7. ファイルリスト

ファイルリスト TARGET.TXT Empty End	↑↓ボタン：カーソル移動 左上ボタン：選択ファイル消去 右上ボタン：メインメニューに戻る 戻るボタン：メインメニューに戻る
------------------------------------	--

### 1.8. 日時設定

12:34 2015/01/05 17:52 ^ End	←→ボタン：カーソル移動 ↑↓ボタン：数値変更 SCAN ボタン：日時変更決定 右上ボタン：メインメニューに戻る 戻るボタン：メインメニューに戻る
---------------------------------------	---

※2 次元バーコード版は、現在開発中のため機能しません。

### 1.9. バージョン

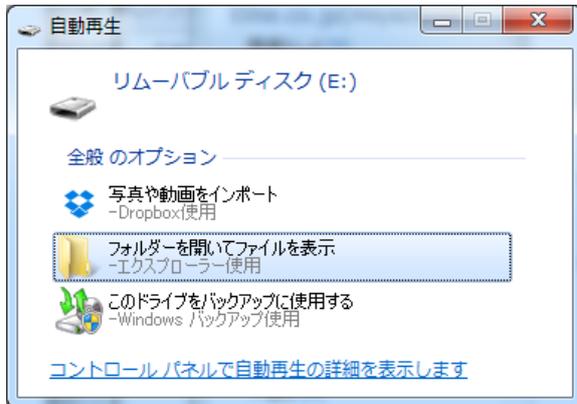
12:34 ver : x.x.x End	右上ボタン：メインメニューに戻る 戻るボタン：メインメニューに戻る
-----------------------------	--------------------------------------

アプリケーションバージョンを表示します。

## 2. パソコン側の操作手順

### 2.1. Log ファイル手動アップロード手順

#### 1. USB で、PC と接続



#### 2. 「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択

#### 3. ファイルを PC へコピー

### ■ファイル出力内容

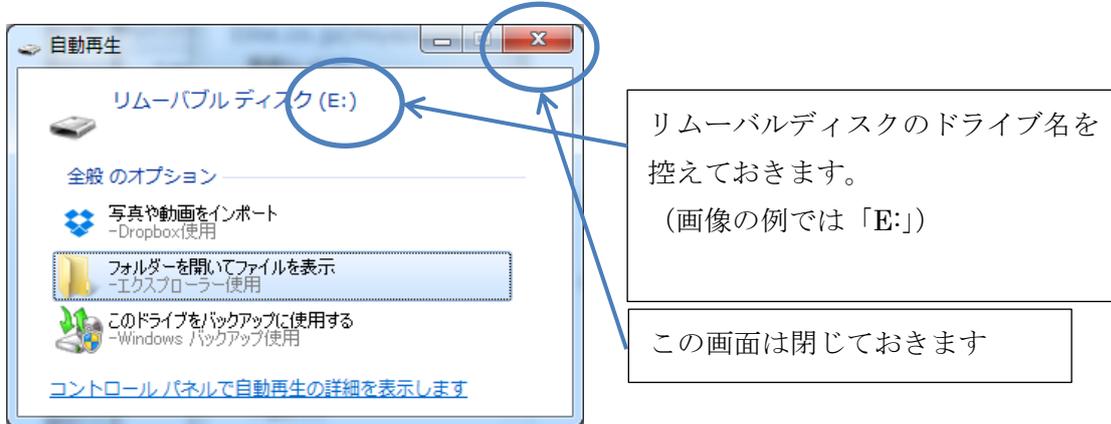
#### 2 列目データ解説

- ・”SCAN11”：スキャン 1-1 のスキャン履歴
- ・”SCAN1N”：スキャン 1-n のスキャン履歴
- ・”SCANDB”：スキャン DB のスキャン履歴
- ・”SCANVERI”：スキャン検証のスキャン履歴
- ・”SYSTEM”：その他操作履歴

```
2015/01/08 17:20, SYSTEM, ファイルクリア, TARGET .TXT,  
2015/01/08 17:21, SCAN11, 担当者スキャン, 4953170019494,  
2015/01/08 17:21, SCAN11, First スキャン, 004442,  
2015/01/08 17:21, SCAN11, Next スキャン, 004442, NG  
2015/01/08 17:21, SCAN11, Next スキャン, 004442, OK  
2015/01/08 17:59, SYSTEM, 日時設定, 2015/01/08 17:49,
```

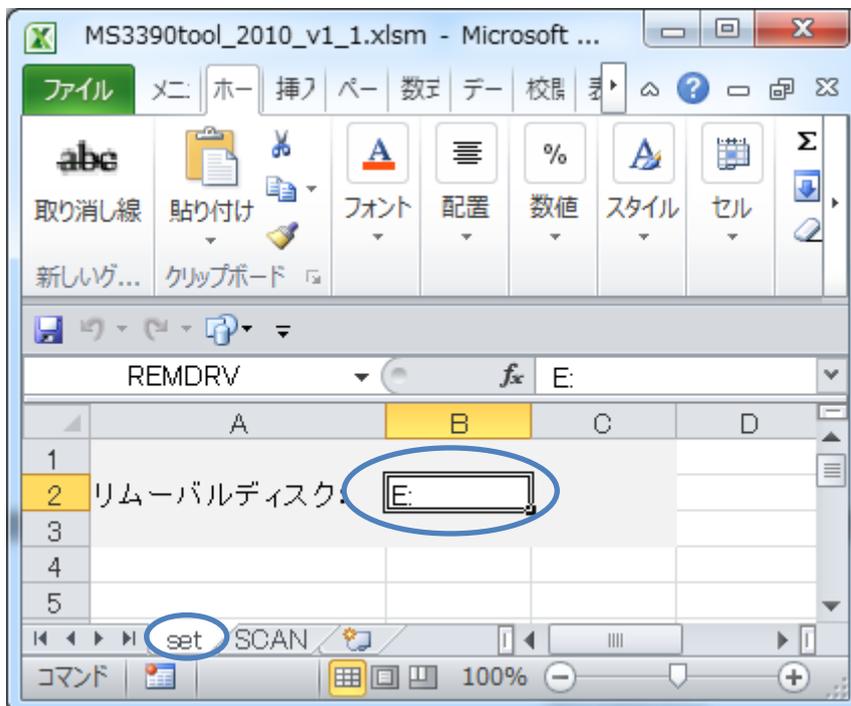
## 2.2. Log ファイル自動アップロード手順

- ・MS3390 を PC に接続します。

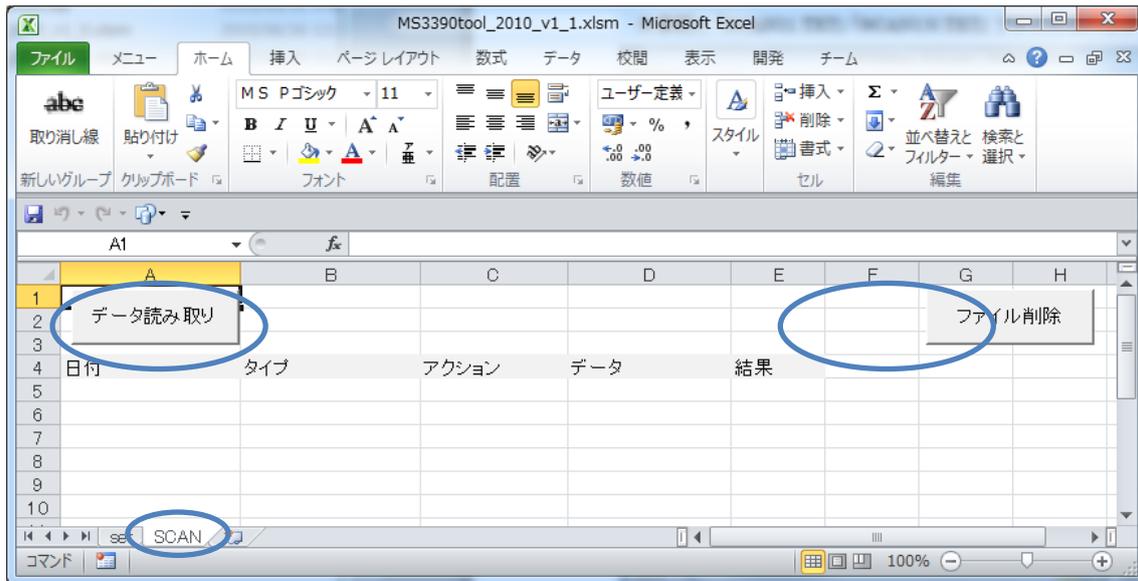


- ・MS3390tool\_2010\_v1\_1 を開きます。(Office2010) ※exe 版は後述

- ・「set」シートには、PC と USB で接続したときのリムーバルディスクのドライブ名を記載します。(例) D ドライブの場合、「D:」 E ドライブの場合、「E:」



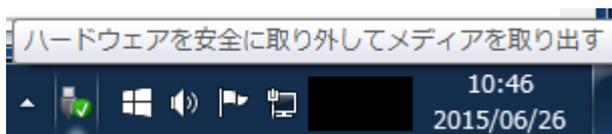
- ・「SCAN」シート内の、「データ読み取り」ボタン押下で MS3390 の内容のデータが表示します。
- ・「SCAN」シート内の、「データ削除」ボタン押下で MS3390 の内容のデータを削除します。  
※事前に「TARGET.TXT」ファイルのバックアップを行ってください。



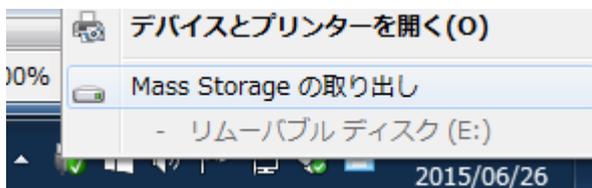
**PC から USB を取り外す際、以下の手順で安全に取り出してください。**

※突然 USB を PC から抜くと、ファイルが破損し次回から読めなくなる場合があります。

- ・タスクアイコンで左クリック



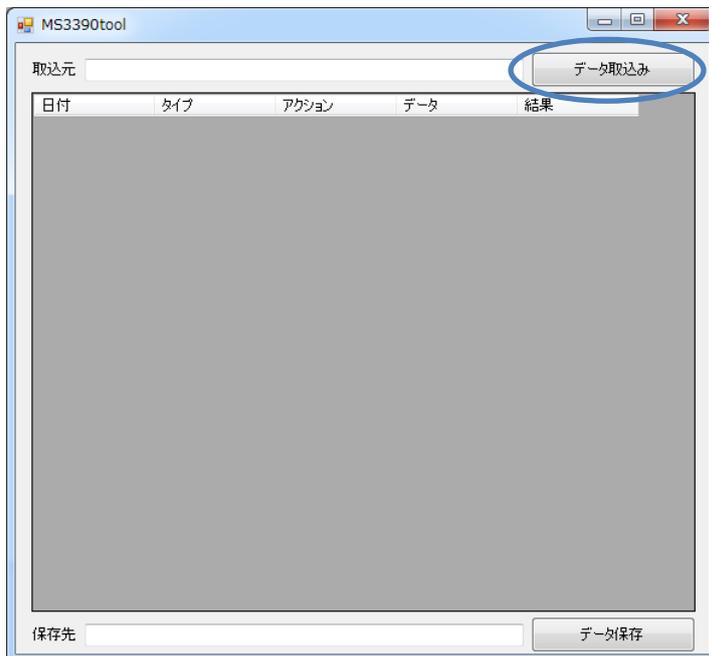
- ・リムーバブルディスクの取り出しを選択



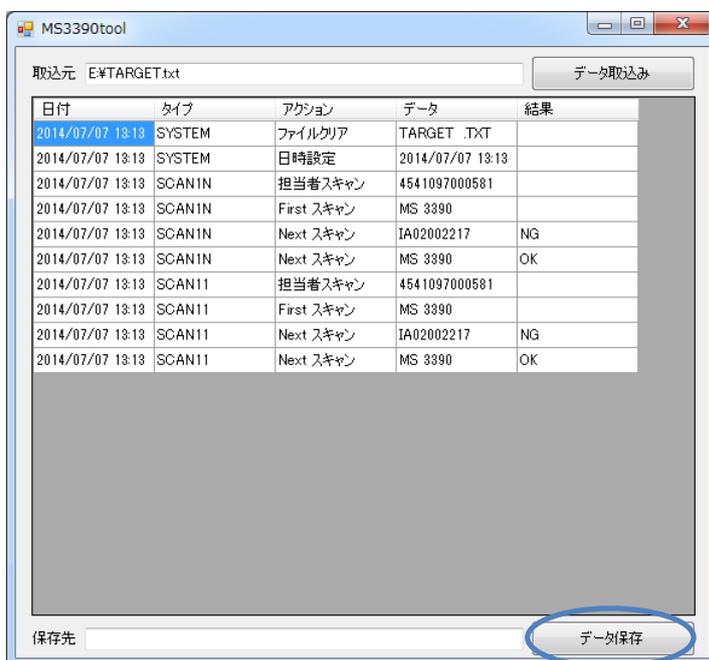
エラーが出る場合、Excel を閉じて再度実行してください。

以下、VB 版アプリの操作手順です。

- MS3390tool.exe を開きます。



- データ取込みボタンを押下して、リムーバルディスクの TARGET.txt を開きます。
- リストにデータが表示されます。



- データ保存で、ローカルディスク等に好きな名前前で保存可能です。

### 3. FW 更新手順

MS3390 本体または、アプリケーションのアップデートを行う際、手順を記載します。

(必要なファイル)

- ・ MS3 SDK Download Utility V2.0.exe
- ・ アップデートファイル (bin ファイル)

#### 3.1. MS3390 本体 FW 更新手順

- ・ MS3 SDK Download Utility V2.0.exe を起動します。



・ 「Browse」 ボタンで、「MS3390\_Scanner\_APP\_Vx.x.xxEN\_release.bin」 ファイルを選択します。

- ・ MS3390 本体にて、「SCAN」 ボタンを押下しながら電源を ON にします。
- ・ PC と MS3390 本体を USB で接続します。
- ・ 上記画面にて、「Upgrade」 ボタンを押下します。
- ・ Success が表示されていることを確認し、「×」 ボタンで画面を閉じます。
- ・ MS3390 側の電源を OFF にします。

### 3.2. アプリケーションFW 更新手順

※必要であれば、事前にログファイルのバックアップを行ってください。

- ・MS3 SDK Download Utility V2.0.exe を起動します。



- ・「Browse」ボタンで、「ms3390\_v1\_X\_X.bin」ファイルを選択します。

(MS3390 側操作)

- ・メインメニューから、戻るボタン (SCAN ボタンの左下) を押します。
  - ・「Input」ボタン (SCAN ボタンの右上) を押して、パスワード「1234」を入力します。
  - ・「Check」ボタン (SCAN ボタンの左上) を押します。  
→Home メニューが表示されます。
  - ・↑↓ボタンで「Data Transfer」を選択します。
  - ・「4 U-Disk」を選択し SCAN ボタンを押します。
  - ・「Options」 (SCAN ボタンの左上) を押します。
  - ・「3 Format」を選択します。 → 「Yes」を選択します。
  - ・戻るボタンを繰り返し押下して、Home メニューまで戻ります。
  - ・↑↓ボタンで「Application」を選択します。
  - ・「3 Download」を選択します。
- 
- ・PC と USB ケーブルで接続し、上記アプリケーションの「Update」ボタンを押下します。

(アップロード結果)

BootLoader Version: XXXXXX Updating, don't remove power. Update Success.
--

- Success が表示されていることを確認し、「×」ボタンで画面を閉じます。
  - PC から TARGET.txt を削除します。
  
  - 「Application」メニューで「1 Auto Run」を選択します。
  - 「2 Enable」を選択します。
  - MS3390 側の電源を OFF にします。
- (次回電源 ON 時、アプリケーションのメイン画面から表示されます)

## 4. トラブルシューティング

### 4.1. 「Check System Password」画面が表示されてしまう。

- ・戻るボタン（十字キーの左下）で元の画面に戻れます。
- ・パスワードを入力すると、MS3390 の詳細設定画面に移行します。パスワードはデフォルトで「1234」です。パスワードが違う場合は、各販売店にご相談ください。

### 4.2. PC とつないでも USB メモリとして認識されない。

原因) U-Disk モードになっていない

- ・メイン画面で、戻るボタンを押すと、上記パスワード画面が表示されますのでパスワードを入力し、MS3390 詳細設定画面に移行してください。
- ・「Data Transfer」(2/5)で SCAN ボタンを押下します。
- ・「4 U-Disk」にカーソルを合わせ、SCAN ボタンを押下します。「4 U-Disk」にチェックマークが付いたら OK です。

それでも認識されない場合、USB メモリのフォーマットを実施します。

- ・「4 U-Disk」にカーソルを合わせ、Options ボタン（十字キーの左上）を押下します。
- ・「3 Format」にカーソルを合わせ、SCAN ボタンを押下します。

### 4.3. スキャンしても履歴に蓄積されない。

原因) TARGET.txt ファイル自体が壊れている可能性があります。

- ・ファイルリスト画面で、TARGET.txt を選択し、Empty を実施してください。(事前にバックアップを推奨します)

ファイルアクセス中に、USB の抜き差し等でも壊れる可能性があります。

定期的なバックアップを推奨します。

- ・ほか、上記「PC とつないでも USB メモリとして認識されない」件と同じ原因の可能性もあります。

### 4.4. スキャンすると電源が落ちる。

- ・上記「PC とつないでも USB メモリとして認識されない」件と同じ原因の可能性もあります。

### 4.5. 上下ボタンが反応しなくなる。

- ・バージョン「1.0.6」で改善しました。
- ・スキャン 1-1 の 2 回目スキャン後、Enter を押さずに End を押すと、再現することを確認しております。

### 4.6. 電源を入れると「Error Database Open」が表示される。

- ・バージョン「1.0.7」で改善しました。

## 5. 変更履歴

Rev	日付	内容
00	2015/05/11	初版
01	2015/07/06	「FW 更新手順」追加
02	2015/07/07	「バージョン」メニュー追加。 スキャン履歴・複数ファイル→1ファイル管理に修正
03	2015/07/10	Ms3390tool.exe 操作手順追加
04	2015/08/20	スキャン DB、DB 登録追加 (FW Ver.1.0.4)
05	2015/10/13	「バーコード検証」に蓄積機能追加。 スキャン DB・DB 登録画面修正
06	2016/08/31	「トラブルシューティング」追加